

# ときめき人

Tokimeki bito

## 思いは連鎖し、未来につながる



市内の中高生なら、誰でも参加できます。  
【問い合わせ】  
登米市まちづくり企業「縁屋(えにしや)」  
☎ 090(7185)6004  
✉ cwsengawa.10012022@gmail.com



### 中高生と大人の座談会「LINK」

©Go Nagai / Dynamic Planning

市内の中高生が集う座談会「LINK」は、「大人も子どもも、一つのテーマで価値観を共有し、生きるための力を身に付ける」をコンセプトに2019年から活動を開始。毎月1回、市民活動を展開する大人たちを交えて、さまざまなテーマで意見交換をしている。参加者たちは「同じ学校以外の同世代が交流できる場所や、家族以外の大人と話す機会って少ないと思う。ここでは、そんな貴重な体験ができるんです」と話す。

メンバーは、話し合いの中で生まれた思いやアイデアをマルシェイベント「とめまる」で実現することに。昨年は参加者と作る100色アート、2年目の今年は「子どもたちにかっこいい背中を見せる」という目標を立てて、Tシャツペイントやキッ

チンカーのPOP製作、エコアートに挑戦。限られた時間の中、企画や運営に奔走した。イベント後、「子どもたちの楽しそうな様子や、皆さんからの応援や感謝の言葉に、やってよかったと実感した」「活動を通して、人間性、協調性、発言力など多くのことを学び、成長できた」と声をそろえた。

「高校卒業後は進学で地元を離れる予定ですが、学んだことを糧に、これからも登米市のためにできることを考えていきたい」と語った千葉遥奈さん。リーダー役の高橋尊さんは「みんな性格がバラバラ。だから、面白い。いろんな考えや意見を重ねて一つのことをやり遂げる楽しさを体験してほしい」と参加を呼びかける。若者たちの輝きは地域の未来を明るく照らす。

## 編集後記

▼暑さと日焼けが嫌すぎて、外での取材を二人に押し付けて事務室に引きこもっている今日の頃。いつもありがとうございませす。涼しくなったら頑張りますので・・・(渡邊)

▼強い日差しの中、日焼けしながら昨年に続いて中総体を取材。昨年見たときは、どこか先輩たちの陰に隠れてプレーしていた2年生の選手たちが、たくましく成長している姿にうれしくなりました。年齢を重ねるにつれ、1年経過するのがほとんどんん早く感じる今日この頃。原稿を書くスピードも早くなればいいのに。(高橋)

▼先日、新婚旅行で北海道に行き、妻の両親が昔旅行したという場所をいくつか訪れました。私たちの土産話に、昔はこうだったよと思いを語り目を細める義両親の姿に、旅の思い出を追体験し共有することの素晴らしさを感じました。おのほそ道の旅路に思いをはせる現代の私たちに、芭蕉も同じ気持ちを抱いているのでしょうか。(添田)